

あなたの地域の活動「ちい活」を応援します！

地域のわ通信



六角橋北町自治会

Chikiriyoku
Up!

地域の防災防犯 × お楽しみイベント

六角橋北町防災防犯ハロウィンウォーク



10月30日に実施



六角橋北町自治会のハロウィンは、他とちょっと違います！

子どもたちが楽しむだけでなく、子どもの防災防犯意識を高める工夫をプラスしたイベントです。



▶「こども110番の家」ステッカー

▶「こども110番の家」についてハロウィンに参加した子どもたちに説明する防災部員の岩崎さん（写真中央）と清家さん

◆ 「こども110番の家」との接点がない! ?

「こども110番の家」は、地域の個人宅や店舗などに協力してもらい、地域で子どもたちを見守る事業です。もし何らから犯罪被害に遭い、もしくは遭いそうになった場合に助けを求められる場所として、見えるところにステッカーが貼ってあります。

同自治会の防災部員の岩崎久美子さんは、小学校の校外委員の経験から「貼ってある場所と子どもたちの接点がないことに違和感があった」と言います。日ごろから顔を合わせる機会があれば、いざという時に駆け込みやすくなるのでは、と思ったそうです。「どうせなら子どもたちが楽しめるものになりたいと、ハロウィンと結び付けました」と、地域防災防犯とイベントを組み合わせた成り立ちを話してくれました。



毎年子どもたちが仮装して来るのを楽しみにしています！

ここも「こども110番の家」なんだ～

毎年参加していると、地域の人がわかるようになってきたよ。



うちでできる事があったら、いつでもどうぞ！

子どもが地域を知るきっかけになりますね～

始めて参加しました！
地域の人々の温かさを感じます。

◆ 子どもがいざという時に駆け込めるには…

「たとえ「こども110番の家」でも、初めてのところへはなかなか行きにくい」という思いで始めたこの防災防犯ハロウィンウォーク。

今年で5年目となり、親子17組が仮装して集まりました。密集を避けるため例年より規模を縮小していますが、子どもたちは、普段顔を合わせることがほとんどない「こども110番の家」のステッカーが貼ってある店舗や個人宅をめぐり、直接、会って話すことで顔見知りになりました。



▲災害時に備えたトランシーバの訓練を兼ね、ハロウィンイベントをサポート



▲「こども110番の家」の場所を子どもに伝える



▲事前の打合せする防災部の飯田部長（写真左から3番目）とメンバー

◆ 安心して暮らすために

練り歩く子どもたちの安全は、防災部員全員が持つトランシーバーでサポートしました。加えて、例年は公衆電話の使い方を子どもたちに伝えていましたが、今年は中止になりました。公衆電話は災害時に無料で使え、携帯電話よりつながりやすいことを、各家庭でも教えてもらえたらと防災部は考えてます。

さらに、「六角橋北町防災防犯ハロウィンウォーク」をきっかけに、平常時から地域の人との挨拶の習慣はもちろん、地域の人と顔を合わせる接点が増え、安心して暮らせるまちになることを期待しています。

防災防犯×ハロウィンの概要

主催者	六角橋北町自治会 防災部
協力者	「こども110番の家」に登録している7店舗と1件の個人宅
参加対象者	子ども会会員中心 *その友人なら可
経費	自治会費からお菓子を購入し、協力者に渡す。 *それにプラスしてお菓子を用意してくれるところもある。
イベント内容	防犯として ・こども110番の家を訪問 防災として ・公衆電話の使用実施体験（令和3年は実施見合わせ） ・防災部メンバーのトランシーバー訓練